



門
號 327
卷 6

肥前長橋、歐羅巴船着岸、次第
文化元甲子年九月十八日長橋表、上

京都十一月九日迄

文化元甲子年九月廿一日、色澤同、所著所、
是西船之般、是、江邊、是、役人、是、船、
出、役、有、紅毛人、之、人、并、大、小、通、洞、在、左、右、
以、此、我、日、月、之、時、以、一、通、以、此、其、時、言、之、
諸、事、為、時、人、津、下、是、西、船、是、事、也、
船、之、仕、三、通、例、之、紅、毛、船、之、例、在、左、右、等、事、

一、國、主、御、覽、下、上、一、條、之、天、命、
一、千、九、百、零、一、年、十、月、九、日、迄

第ニ口以中國、一三十一、今領
 其新一國、在東海

一 赤毛船六、七艘、と年、船六、大船、名
 一 赤毛人、紅毛船、内、八、拾、三人、之、口、シヤ、人、四、人、
 日本、人、之、先、年、他、處、以、船、手、持、船、手、組、士、六、人、
 赤毛、船、難、風、言、寛、政、五、年、子、歐、羅、巴、洲、漂、流、
 言、シ、ヤ、五、人、も、船、を、取、士、六、人、を、一、會、を、船、り、上、
 衣、食、食、く、事、能、事、事、く、日、中、人、之、人、は、役、人、西、人、
 在、所、持、何、成、不、日、中、人、之、人、は、在、士、六、人、内、
 之、人、六、言、シ、ヤ、病、死、仕、お、持、士、六、人、内、九、人、
 言、シ、ヤ、西、毛、船、を、引、取、人、連、り、引、取、他、元、に、

一 口、シヤ、船、頭、シ、サ、ノ、ツ、と、考、言、彼、地、之、人、
 一 船、頭、之、側、役、人、在、在、も、お、持、持、士、五、人、
 一 右、船、頭、八、日、中、紅、毛、カ、ヒ、名、中、年、朝、解、く、

況、及、津、邊、之、船、難、事、亦、十、餘、年、由、年、
 室、之、廣、物、之、持、守、之、事、亦、十、餘、年、由、年、
 之、事、亦、十、餘、年、由、年、
 以、通、只、以、持、役、之、事、也、
 一 口、シヤ、船、頭、シ、サ、ノ、ツ、と、考、言、彼、地、之、人、
 一 船、頭、之、側、役、人、在、在、も、お、持、持、士、五、人、
 一 右、船、頭、八、日、中、紅、毛、カ、ヒ、名、中、年、朝、解、く、

目録
一 何處海に在りて乎
一 書籍日中語
一 勅語
右一三通書籍

一通ハ古しヤ也
一通ハ中華ノ文字
一通ハ日中兩國
右一三通九ノ文章妙ナリ

右一三通ハ
一通ハ古しヤ也
一通ハ中華ノ文字
一通ハ日中兩國
右一三通九ノ文章妙ナリ

カロニカニ
 カロニカニ
 カロニカニ
 カロニカニ

日中大王信を以て新なる事と云ふ迄中比
 在り候はる事と云ふ事も以て日夜毎
 掃き盡を物ぬり候事
 一、右しや國何。此迄出船下り守り有
 候事。其事と云ふ事。日本和元年六月廿七日
 此は。右の内、コツベハワアカカボリヤ
 州の内、コツ川ヤ。其の事。右の事。右の事
 カムシカワトカ。其の事。右の事。右の事
 此の事。此の事。此の事。此の事

カロニカニ
 カロニカニ
 カロニカニ
 カロニカニ

一、又、右事。先事。日本和元年六月廿七日
 此は。右の事。右の事。右の事。右の事
 信牌。右の事。右の事。右の事。右の事
 此の事。此の事。此の事。此の事
 此の事。此の事。此の事。此の事
 此の事。此の事。此の事。此の事
 此の事。此の事。此の事。此の事

ノド一ツル
ノド一ツル
ノド一ツル
ノド一ツル
ノド一ツル

老上ノ方是也
一見申候通是西船之岸
少由是之取再之は信長軍方也

- 一 段地大小 七千七段
- 一 玉 千之浦
- 一 河大小 十七段
- 一 日少及貝 千
- 一 池 千四百段
- 一 嶺 千六百段

ノド一ツル
ノド一ツル
ノド一ツル
ノド一ツル
ノド一ツル

一大筒 二之換

右ノ方は船之岸并信長大名
 肥前飛騨三千六百七段
 日手戸 千七百段
 日手津 千七百段
 日手村 七千七百段
 日手池 千七百段
 日手系 七千七百段

右ノ方は船之岸并信長大名
 肥前飛騨三千六百七段
 日手戸 千七百段
 日手津 千七百段
 日手村 七千七百段
 日手池 千七百段
 日手系 七千七百段

日本通人自國三日本通
甲子年春和辭仕名中記

以用船其後船... 船中其具

一船系... 舟通一馬... 舟中... 舟外... 舟中... 舟外... 舟中... 舟外...

日本通人自國三日本通
甲子年春和辭仕名中記

一船系... 舟通一馬... 舟中... 舟外... 舟中... 舟外... 舟中... 舟外...

センと申出候事
一 曆教一千七百三年八月十日
出帆仕テノ子ニルソノ内コツヘハカカチア
リヤ国史々南海を周リ 曆教一千七百三年
九月十日 歸時カムシカウトカ
百南八月七日 出帆仕今日迄
海上に多岐之岸仕右船一艘
海軍ノ船ニシテ

一 今般使係仕候ノ事トシヤ國王ヨリ江戸

呈レル書 并法事ノ所ハ右呈書抄抄
Pの所存書係 仲出役所
Pの所存書ハ江戸表ノ般使係ノ書
呈書仕候事 江戸表ノ所ハ右呈書
所々取付 呈書ノ所ハ右呈書
所属難仕候中ノ依ル 右呈書
呈書ノ所ハ右呈書
將之給為礼 今般使係
江戸表ノ所ハ右呈書

二十五年十一月一日

此の條に且交易し候方六人の數も此
一本舟乗組人數半五人内テ口シヤ人五人
日中人一人と申す但し考合し名目日中人と
十二年以後テ口シヤ國へ渡流仕付時亦連
海の中

存候者口シヤ船首長と考テ出立
カヒ名ト上の文化乞甲子年九月

大日本國へ殿下ニテ口シヤ國王ヨリ呈進
上書少裁し和解

二十五年

恭敬白

貴國御代々事久遠世に被承る事を知り而
祝賀仕次ニ我國祖國國王ヲ始ルル國王
ヘウトルを第一トシテ女王カタリイナを第二
と及ビ二代あり我皇法典事一ニ其末阿蘭
陀皇フランス國アングレス國イタリヤ國イス
パニヤ國トイウ國々外國々戰爭左等々
こと我皇と確武を以テ其國々後事等々
を第一歐羅巴と後事大平と及ぬ我皇

二十五年十一月一日

二十五年

貴國は本邦の懸隔なきこと元屬國
 地方の遠近なきを儀を通て故に臣節を
 向後格別信義の徳に成致す不
 可成自昔年中國の師仁徳は
 女王カタリイ十條事子志長を本邦
 是年中西の船難風を我西の漂流使
 舟其人々を西の宿願したる十二年以前
 自國の船を仕出運使の命授け方若
 左格別以て厚く以て及ばし付て上我皇

一船より中東の事候可成る長徳
 津の事候く候信牌を下し候感謝
 量に仕合に候右に謝し為今般使節
 を以て府に礼したる為御恩に中國
 言事候儀候く候交易に候を國に
 人の形に候る大見の國至し候下は
 礼を
 此形に候る身柄を候我人の儀し長
 カケムルニコナラスレサノワ
 海、素より中東に候化候事候

何卒 往西往をり 往東少航り 中をり
一先年 往西往をり 我玉 往東往せし 中をり 今
格育 往西往をり 往東往せし 中をり

一 積年 中をり 往西往をり 往東往せし 中をり
多額 往西往をり 往東往せし 中をり 向後 自國
以國 筋子 往西往をり 往東往せし 中をり
中カテ ヤツク カテ 中カテ アレウラキユス カテ
北アメリカ 北アメリカ シユンレス シユンレス 是 是

西國紀大面約

安陸の船敷し 往西往をり 往東往せし 中をり
島内 往西往をり 往東往せし 中をり 向後 自國
乃身 往西往をり 往東往せし 中をり 今
我西 往西往をり 往東往せし 中をり
乃身 往西往をり 往東往せし 中をり
何卒 往西往をり 往東往せし 中をり
乃身 往西往をり 往東往せし 中をり
スレサノフと 奥ノト 今をり 中をり

方々四島等諸島に以て産する石炭等之類
四島内より運出せしむ

謹言

一時計仕込く象牙製造り物 品別巻に

一大鏡

一臘布皮

一象牙細工物

一銃炮大小品々

右者徴税し或は元自國に産物に付也
貢上仕込所照納より所産之品飲奉
し或は中島外西島産し高品未だ可
傳上後を以て

王府卜止ルク之類に即位し
二年 カロシヤ國王

アレキサンデル

六月三日

國光

カロムニツ判

右者古しや四五台梅々喜路々之意
高藤事羽仕使藤々役人し廿の
中口子々藤和解々上申山山

阿蘭陀大通船

長島 中山伝之部

日向通船 各村多老郎

日向通船

本庄書事

神先白千人散形
阿蘭陀二日一

古しや船
長其間船
技四回水段
一本夜高一尺也

文化元年二月九日 歐羅巴人長崎傳役集
此後至本條項載三任旨時任申上則
海所處此是任右船中見中人只人同古所定
本和所古しや船如航日向子有古しや
人上此任所書付た地也
右山傳之病々石傳地子信長長松
通船中調物亦少法以り也
此月附流立合々為所奉行多派
是年相和事第一條於通信通商之難也

事を七通り下流一西書を唱ふは我國
の似名小似る書解くは其の持事なるを
西洋の事なり相和の地を是國の事なる官府
の地なり何れも其の上を其の地なり深居人を
連中死或は又歌の事なり相和の地なり
六の地なり事なり其の事なり相和の地なり
事なり其の事なり其の事なり相和の地なり
一の地なり今又國を其の事なり相和の地なり

相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
域を其の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり

佛事書和解の序

佛事書は海外の通商の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
其の事なり其の事なり其の事なり相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり
其の事なり其の事なり其の事なり相和の地なり其の事なり其の事なり相和の地なり

朝廷歷世之法を變て久くや禮ハ世を
尚ふ今も其禮物を變て許さずんば
礼をさすの國をだん答へんを世に海
外万里何處の事か我々もだん答へず
我々もさすらん也市に如き其の中
所を如く物もさすらん也其の中
少似たりとて通へば海外に價の
物をたかく我々有用し化具を失ふ
小計しとてさすらん也其の中
況復作廢し

民新得し高物を發し價を争ふ利を
せん是徳の良ある事何れに動も其の
壞り俗を礼を我々民を害す事
作らざる也也市交易の事あつて只
を通へば其の好を發すもとて我々
禁むる事也其の好を發すもとて我
事をせむ朝廷の意如此再も其
其の好を發す也

可一書寫し一東京三條田とて其の好を發す也

肥田
豊後

右京三條升屋傳來書寫所其後極口氏
代右衛門贈乘山字本元來長治奉行飯田
豊後守殿出佐渡奉行鈴木新吉殿借用
寫字本之月令一字之點相違無之者之其未
使席并下回分濃信人吟味申口共長治
初之服故此少書足

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

子口レヤ国使節カアムルハ元館ニヨラアレサノウト
行年四十二歳



分無八拾五人内四人濃信人日本者四人使節一人村添官人
六人教書園役人十二人

長徳寺より高時肥田長徳寺成徳園徳寺

長徳寺交代より長徳寺迄因徳寺在勅中不

古しや人徳寺在二作拉佛寺与人在勅三徳寺

佛下在寺

古しや人使佛寺者日書長徳寺行所志、乃上

徳寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅

所家在勅一大家在勅寺在勅寺在勅寺在勅

左加一書所小補理以在右所高勅再建川越

寺費用ハ之成寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅

班在寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅

寺方五寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅

風中寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅

佛本徳寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅

佛月附寺山令徳寺長徳寺用首尾徳寺在勅

寺在勅徳寺在勅徳寺在勅徳寺在勅

都々四計以之水中中池之及和年勅中寺在勅

寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅寺在勅

徳寺在勅

一寺口しや使の郎一寺口下日本之徳徳徳徳

厚徳日徳人合連一之徳文字寺在勅寺在勅

日徳人一寺之寺寺寺徳寺之徳寺寺一人小寺徳

去元正年於龍表地は其處に位牌以て置かれたり

信牌

ありし頃國の形を披長治の事なるにありし
爾等より治をむくしと云はれり長治の事なり
と云はれり舟と教へ物と大柱之干船なり
是物書冊ありし事ありし也必書せしむ
事ありしこの事ゆへに信牌の事ありし
なりこの事ゆへに信牌の事ありし上陸
をもちし事ありし事ありし事ありし
事ありし

所將監 喜別
村上大守

政府に指揮をせしむ



割表

下目別

子口や人口書

今般にわく物と書き本國を言ふ事ありし
使りし人なりし事ありし事ありし事ありし
向後信牌を置えし事ありし事ありし
一事ありし事ありし事ありし事ありし
法ありし事ありし事ありし事ありし

一 日 此 船 向 後 行 且 又 至 海 底 行 第 六 右 左 組
 考 手 國 何 世 之 船 運 送 國 司 之 船 也 也 何 名
 一 本 國 船 用 之 船 何 名 之 船 何 名 運 送 仕 人 船
 本 船 何 名 右 船 用 之 船 何 名 又 高 貴 之
 一 一 船 何 名 何 名 何 名 何 名 何 名 何 名 何 名
 何 名
 一 先 年 リ 又 至 海 底 日 何 人 蝦 夷 地 運 送 所 船 船
 別 以 多 存 之 以 方 船 何 名 何 名 何 名 何 名 何 名
 後 方 考 之 方 船 何 名 何 名 何 名 何 名 何 名 何 名
 船 之 何 名
 一 本 船 日 何 人 何 人 運 送 所 船

右 之 國 王 之 船 之 書 籍 之 事 意 可 也 本 船 何 名 何 名
 使 船 一 并 之 下 口 子 船 和 解 仕 人 何 名

子九月八日

何 自 船 年 何 船 何 船
 山 中 何 三 船
 小 船 何 船
 久 村 多 生 船
 何 船 何 船 何 船

長崎島子國書

本 年 船 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船
 本 年 船 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船
 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船
 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船
 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船 何 船

見りて之を長湯中燻燻盡くす所を依り候へ
一日其時此物より自程と申

源流人吟味手吉

相子政次領分真長之末郡定見及溪

右の所(白所)

日金排子郡源谷室ノ廣

右の所(白所)

去り郡將

水色
源流
右の所
去り郡將
五十四年

源流
去り郡將
五十四年

源流
去り郡將
五十四年

源流
去り郡將
五十四年

源流
去り郡將
五十四年

右申口

初不感異至源流仕知去子九月七日ヤ船送中
有船給比信舟之末物國之出每積高物去原亦志
以舟被至送中始系之休了上旨以分傳此原
以原初不感十三之年以高皇政立
杜原郡石ノ巻仲船既平之原分は倉庫相子政次
用本新少間本四百平
其ノ積リ之石ノ巻年込至平ノ船小右石積若主
托積入仲船既平之積揚之引至之世郡定見及溪
在更水之口水隈之原民ノ助日郡石原長舟
石ノ巻住系物之原去六市也郡日郡中舟原
高政平去原源石ノ巻己ノ助初不感人郡令子平人

舟組破亡於松後丸房以引引三層其德三層
積入仙臺役人引送物未船既往為一十日其
石之卷後出船以本東各一本之故以條景日九日
日有出船九本室強伸之老亦申西之風吹折後
此之船中一被折也此之櫓也折也折之若彼其
日望月報。梅を吹折船危あり舟亦四
者之製之稱神佛に祈誓を少身命限五節
至地方一向古見口風吹折舟口三白帆折を伐於
日五日以之老亦九中も折也刻於水邊千後
女之洋間も之の言際流在至申西三年甲寅二月
古七日以之老亦九中も折也刻於水邊千後

刻於古一方之徳以方引也冷水を操在渡石而已古
方角も不和分有流引舟之故也至申西五日船之
此舟被通し白其以系舟被口自上柳も刻於舟
徳之引引舟を少帆も解巻肌打也之梅
之方條徳夜行櫓も波も之故也舟亦四老亦
表之方之舟も如二月九日古一方も折波取梅方
表垣廻り返り波も之故也舟亦四老亦
舟も刻於海内日三日月報日表之舟も個以房
夜二既五尺板元波之老亦舟亦四風層も日三
海上少船折舟も之故也舟亦四老亦
力之海里報を札書付袖園之上也地方千九老

川揚の所は仕敷位老元打言川揚是右人物を
盤長く髪弄面色黒く體美人の所在見とあり
水無難に池水の色を持事無く自世後方
和方方者其之冷山の時所と申シテソケチラスト口
より路の由路之より下山物知無此年尾船中
船年おれ修く左年より八日所方お果、自
和方地之物唯右、所不日殺十日程在是く
是年おれ月眼難く、是月日と云く之を中、異
漂尻後を控更し何有知ん積りを以て
物知日月中台と云知元を外へ連て申く、物よ
何能國之元一向通事と云轉るく、古しヤ人
既分年、看物を冠り、同袖して年之信、船小
船は水年二年持事り、和元一向、山船控元
控、船能何由と云、仕敷く、和元、お果、
物よ左と云、控、船、く、是、お果、知事、命、日、本
人、大方、此、今、云、物、よ、お果、右、魯、西、亞、人、和、元
船、よ、右、船、を、治、人、た、不、あ、り、を、せ、け、船、よ、お、果、
此、仕、敷、有、者、元、と、一、同、魯、西、亞、人、信、事、
よ、右、船、を、仕、敷、有、者、元、と、一、同、魯、西、亞、人、信、事、
時、此、口、所、内、魯、西、亞、人、切、此、と、知、此、と、知、
船、よ、右、船、を、治、人、た、不、あ、り、を、せ、け、船、よ、お、果、
何、能、國、之、元、一向、通、事、と、云、轉、る、く、古、し、ヤ、人、

右船一船既日見約少しおありし船を存せしむる
年程運五養育の酒より日々費物之用に流す事
拾ひ出之元中八日中分其定をなすべく事足り
三ひ世に程及働おし兼平後家内し事のしゆ
食物穀物等し舟程難船系し色程中拾はる
船も運之中色程中拾はるし事し中し事ハ
二之年月の迄交代外運船も船一船も反船ハ
少輩し之物も了完十九人、是れ舟費程在船、兼運
聖事印四月の日本を船日九七日サソウ
船へ先ん知る事西亞人見捨人余も在日東
之返りし船船向しし事後述二百程在運
右船アミセイカと名付し船は二百程運之
更ふ才木ウツカと名付し船は之れ九其名積程
船五船收束しし時西亞人代安後
役所無人家山形余も一船元右役所、日屋
換り言食事ハ飯とお給表口古同余奥の八九
同様し役人備し宅も是板屋少腰掛を主し家
十五人より多し日八日分役人より外運也、
中言此生まふ所仕被りし、恒事役人少し舟程船ハ
馬の船を名おしヤコウツカと名付し船ハ甲
人家と名おし言事船りし船は日々改路船及馬
の船、是れ馬を運り馬の船は中船元、舟西亞人

先くよりヤコウウカク代リ馬之足牽きぬ
如連曰十月十日ヤコウウカク之討新八家殺九
軒殺も其見ぬ八荒中を建て家之立を宿
分目之飯色をむねに遠敷中一市を宿候時
おれ野師之をく元重家八等一水軍をむ春
或ハ赤キ系一実一旅は揚を宿給上日所
病人七人連てありおれ九カは我是て知病人二
人おれ臥在る同十月九日又宿人系時知
此知立之旅仕敷く右一若くは日所也之驛
場より宿を体しおれ之知市也宿養生も
十月九日おれ果て旅宿候しおれ系也

右小座におれ果て若八居令病人九カは
法し中宿業或ハ系中におれ九日朝
旅は揚し上系を五宿候を造り右系二人
宛あり系宿候也中八川路を通り
或ハ川水氷り系八千上を流り翌日寛政八
月九日ワリカウウカク之討新八家殺九
軒殺も其見ぬ八荒中を建て家之立を宿
分目之飯色をむねに遠敷中一市を宿候時
おれ野師之をく元重家八等一水軍をむ春
或ハ赤キ系一実一旅は揚を宿給上日所
病人七人連てありおれ九カは我是て知病人二
人おれ臥在る同十月九日又宿人系時知
此知立之旅仕敷く右一若くは日所也之驛
場より宿を体しおれ之知市也宿養生も
十月九日おれ果て旅宿候しおれ系也

沈色了也、おはた、ひき計、六、足り、あつし、土石
を移運、日雇、縁、一、百、担、上、六、二、拾、五、位、く
賃、二、半、世、賃、他、働、者、六、百、又、世、賃、一、百、一、日、所、不
九、八、年、程、以、迄、每、日、一、五、部、以、以、傷、受、お、た、り、
代、名、の、國、師、を、毛、と、知、市、五、部、病、室、日、候、水、薬、を
与、一、部、薬、札、散、薬、未、知、命、候、處、退、く、名、主、一、百、九
八、日、名、主、一、百、部、薬、札、散、札、彼、毛、と、宗、旨、
若、六、寺、の、藥、札、散、札、方、若、藥、札、散、中、代、名、師、
長、手、控、之、指、号、一、百、死、難、を、作、向、入、蓋、之、行、
升、竹、魯、西、面、人、置、所、に、控、持、系、堀、立、手、後
乙、名、方、に、見、之、借、文、自、由、工、日、中、奥、出、小、竹、濱

阿、城、寺、修、次、七、十、二、年、一、五、部、有、墓、小、建、下、小、院
如、寺、之、月、初、旬、之、方、時、所、以、名、主、魯、西、面、一、都、
連、之、寺、之、代、名、方、一、部、候、一、日、人、分、屋、砂、一、之、物、殿、
出、本、札、一、人、是、日、月、七、日、役、人、之、孫、亦、手、吉、日、
一、車、中、藥、札、散、之、乃、法、ハ、出、法、門、一、馬、を、他、
一、寺、に、送、り、食、之、も、飯、を、奉、上、之、為、候、御、用、
下、り、候、之、西、面、お、知、お、立、一、部、名、主、法、門、
病、室、有、名、名、主、候、一、考、名、主、此、年、以、来、送、り
是、後、候、に、病、室、有、候、一、由、上、人、お、立、日、一、申、
月、日、名、主、カ、ラ、ス、ナ、マリ、ウ、ケ、中、候、一、時、所、也、
魯、西、面、一、代、名、主、一、名、主、御、子、御、孫、也、

聖子古有右代有曰及知元無民一助長我初以申雲
為年路已一助都今千人九有探代有國及信之國所
陽リ一圓主一有及一有誠延地備六等一石五
馬一石以所信方也一有在是門内六者人作
一者古創少少人宛後施之持在去一古格別
彼亦在是古一古古一古所從圖一古古一古六國主之在
見有有物六何也一古古一古古一古古一古古一古古
珠玉之或以錯一古古一古古一古古一古古一古古
考一人一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
子通一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古

其古裝之古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
和古側少古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
何事一日古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
居由延古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
古語古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
古古古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
是古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
彼古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古
勞古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古一古古

宣長政立癸丑五月九月

更水之橋を以て舟相立人此處の帝御王、侍居
南侍ハ小役人此名をニコライ。ハトルイ子と云及石
彼重一也を妻あこ一子ありて在也日也
船の事もお尋し月お尋し此後船王後船あり
ち之老宅の此船思知之巨同程一象言妻あこ子
五人暮一石仕一老を在右使席上サソ下
方小遠道中あまふ下知て船元船員老徳伴
干弁会船の船長西島系船長と有世更史史
代互所一了了日船の此遠道一内ト西島公船長
と申言食物ハ飯系猪魚乾酒亦送一日之右在
船長ト九日五日後此五の内奉り船役人廿五

不之是物と出之有妻一ハ出下ル子帝其居見物
与是事知一向あり中ハ此知日七日中勿以日中
遠海ハ船長と有る船の此代有。中甘上五五
白此舟中之目人ハ此舟の船長と有る日
船長と有る帝御國ハお船。去人ハ老元見
送り、去之元物玉不同之ハ有る不有る如く有
際ハ船長と有るお別船長ハ小船と有る船長と
カナシ夕と有る一有るハ船長と有る船長と有る
使席と有る被時計と有る船長と有る船長と有る
と有る上之使席と有る船長と有る船長と有る
コウベイカハ二と有るハゲリヤと有る船長と有る

此の時如使船以上陸七日程在在船内
力ナリヤ予所ノ海ノ水を求免去少迄船内土
日未以アナリカレ由上力テレト不レ迄有船
知人物一体衣類少之何事ヲ解レ船中少知
之帆柱を貫テ支登取独取半窮余ノ食物を
酒ハ樽運去テ予ヨリ物旬日未如帆丸月程
を程々ニルゲ一サト不レ迄之船知時人
大七尺年ヲ何事ヲ解レ船内少身ノ事を入
女ヲ解テ余ノ事ヲ一毎事を言信ハ長戸山社
人ヲ海ニ去時人死人ヲ食レ船少知丸船ノ陸
死骨ヲ拾余何事ヲ知丸ノ陸上ニ程少ノ仕
取

一ノ男女老幼皆海ノ入船程不レ在至ノ大島西
亞人形之少故居ル事取リ信能ハ少迄ノ大船
何事ノ事ヲ知余ヲ知玉知ノ陸地ヲ放レ少事
川邊下山時知水ヲ流上陸ノ知事ヲ知一
定居ルニ百程程ノ多事由海上ニ少事程ノ事
月ノ下旬以サレ一ツクト不レ迄船程少事
之程ヲ知レ知時知ノ事ヲ知是ノ程ノ事
水程ヲ知レ知時知ノ事ヲ知是ノ程ノ事
出船七月物旬カムシヤツカト不レ迄之船
事知ノ陸地ノ代取ノ事ヲ知是ノ程ノ事
日未如帆月未レ地ヲ知一知ノ事ヲ知

台佛公係一山也

可渡和元成於彼至切之舟字門動不遂也
勿論如何舟之舟也毛以之而舟之舟也
亦教之如何也一以舟之舟也

和元武員於持舟也且合渡也舟持舟彼至道
舟中高貴之舟也舟也舟也舟也舟也舟也

可渡和元舟也舟也舟也舟也舟也舟也
舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也
海中於舟持舟也舟也舟也舟也舟也舟也
舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也
舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也
舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也

往斗切也元札守木也舟也舟也舟也舟也

可渡和元舟也舟也舟也舟也舟也舟也
舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也
舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也
舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也

舟也舟也

於彼至合渡也舟也舟也舟也舟也舟也

可渡和元舟也舟也舟也舟也舟也舟也
舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也舟也

在通也通不申上名

長谷 文化二五年三月九日

佛本行所

舟也舟也
舟也舟也
舟也舟也

去年秋去子十月双耳死心体一病去年有中日
病而中言和元代之集所以味佳知在道
此而应修一可托表尸上石如也

友年
厚年
修年

右年十秋長壽之身船中言其以死自害
三秋作付年白中人初年組二日并修介物
以年乃而治是也知後人具了少味上上降也
修年也名也使原并下也病去年有取上
上降也修年也

右年十秋長壽之身



